

科目名	国語総合	単位数	3	必修選択	必修
教科書	高等学校国語総合（第一学習社）				
副教材	トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 基礎から学ぶ解析古典文法(桐原書店) 古文単語 301(尚文出版) 必携新明説漢文(尚文出版) 常用漢字ダブルクリア(尚文出版) 読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版) よむナビ現代文2(いっずな書店) よむナビ古典2(いっずな書店)				

教科・科目の内容

- ・1年生で身につけた国語の基礎知識を定着させ、応用していく。
- ・国語の4技能(話す、聞く、読む、書く)をスキルとして学び、探究的な学びにつなげる。
- ・読解力とそれに伴う思考力をより伸ばしていく。

日常生活や将来とのつながり

- ・語彙力、国語常識は学問を進めるにあたっても、日常生活一般においても基本となります。
- ・「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」の4技能は社会で活躍するための重要な基礎力です。
- ・文章の読解を通して、思考力や論理的な考え方、思想や感性を学んでいくことは、人生をより豊かに生きていくことにつながります。

この授業の学習方法

- ・授業に主体的に参加する。
- ・板書はもちろんのこと、授業で大切だと思ったことはノートに書き写す。
- ・漢字小テストで毎回満点が取れるように勉強する。
- ・予習復習として本文を音読する。

到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

評価の観点(評価方法)

①関心・意欲・態度(行動観察・ノート点検・課題提出)

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

②話す・聞く能力(行動観察・課題提出)

目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。

③書く能力(行動観察・課題提出)

相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。

④読む能力(行動観察・定期試験・課題提出)

文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。

⑤知識・理解(小テスト・定期試験・課題提出)

伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	国語総合	3	高等学校 国語総合(第一学習社)	トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 基礎から学ぶ解析古典文法(桐原書店) 古文単語 301(尚文出版) 必携新明説漢文(尚文出版) 常用漢字ダブルクリア(尚文出版) 読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版) よむナビ現代文2(いっずな書店) よむナビ古典2(いっずな書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点				
			関	話	書	読	知
一学期	・「ネットが崩す公私の境」(黒崎政男)	・筆者の問題意識を正しく読み取る。 ・情報化社会という身近なテーマに関心を持ち、意見文を書く。	○			○	○
	・「いみじき成敗」(沙石集) 【知識】助動詞	・説話を読んで、話のおもしろさを理解する。 ・登場人物の描かれ方に注目し、話の展開をつかむ。	○			○	○
	・「唐詩」 【知識】漢詩のきまり	・古代中国の人々の心情に触れ、中国古典への興味を深める。	○		○	○	○
	※ 中間試験					○	○
	・「鏡」(村上春樹) ・「東下り」(伊勢物語) 【知識】助動詞	・現代を代表する小説家の作品を読んで、短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 ・登場人物の行動や心情を読み取る。 ・和歌の修辞技巧を学ぶ。	○			○	○
二学期	・「先従隗始」(十八史略) 【知識】使役、抑揚、比較、反語	・物語の背景を理解し、読解に生かす。 ・句法に注意して読む。	○	○		○	○
	※ 期末試験					○	○
	・「九月二十日のころ」(徒然草) 【知識】敬語	・人間、社会に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・古文における敬語表現を学ぶ。	○			○	○
	・「臥薪嘗胆」(十八史略) 【知識】疑問、否定	・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句などを正しく理解する。	○			○	○
	・「間の感覚」(高階秀爾)	・具体例と主張の関係に注意し、全体の論理構成を理解する。 ・日本人の意識構造や伝統についての認識を深める。	○		○	○	○
三学期	※ 中間試験					○	○
	・「グローバリズムの『遠近感』」 (上田紀行)	・グローバリズムの中で自分たちが生きていることを自覚し、社会に目を向ける。 ・対比構造に注目し、本文の展開を整理する。	○			○	○
	・「帰京」(土佐日記) 【知識】助動詞、助詞	・日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。	○			○	○
	・「論語」 【知識】感嘆、仮定、限定	・中国の思想を代表する儒家思想の概略をとらえる。	○	○		○	○
	※ 期末試験					○	○
三学期	・「城の崎にて」(志賀直哉)	・本文にあることばの意味や効果、配置を確かめながら、表現を味わう。	○		○	○	○
	・「木曾の最期」(平家物語) 【知識】用言、助動詞、助詞	・軍記物語をととして武人の生き方や考え方の特色を知り、古典への興味を広げる。	○	○		○	○
	・「桃花源記」 【知識】部分否定	・音読をととして和漢混交文の魅力を理解する。 ・説話を読み、その背景にある社会状況やものの考え方を考える。	○			○	○
	※ 学年末試験					○	○

備考	授業の様子で、進度を調整したり、教材を入れ替えたりすることがあります。
----	-------------------------------------